

# 雑木林ファンクラブ通信

住所：〒 247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

## 上郷と開港場を結ぶ『パイスケ』

パイスケってなに？

テレビの旅番組で、竹で作ったかごを「パイスケ」と呼んでいる事を知りました。その時はただの竹かごなのに「パイスケ」とはハイカラな名前だなぁと感じました。

「横浜売り」の道とパイスケ

数年前より、横浜検定なるご当地検定があることを知り「横浜を知るには絶好の時」と思い勉強しました。その後、地元にも興味に移り、栄区の「六人会」主催の歴史散歩に参加した時でした。鎌倉街道沿いの天神橋で「ここは今でこそ交通量が多く賑やかですが、昔は江戸道や小坪道で開港場につながり『横浜売り』の道として、せっせとパイスケを作っては売りに行っていました。」と説明を聞きました。

「なに！ パイスケ！ って言うのは、竹かごの事ですか？」

「石炭かご」と呼ばれたパイスケ

パイスケは、天秤棒で前後に担がれたかごです。横浜の開港場で石炭の荷役作業や土木作業に使われました。

「バスケットを 3回言うとパイスケになる」「バスケッ・バスケッ・パイスケ」語源は外国人が言うバスケットを日本人が耳で聞いて言葉になったようです。

大活躍のパイスケ

ショベルカーやダンプカーのない時代に、重たい物を運んだパイスケは大活躍しました。ここ上郷は篠竹が豊富に生えておりました。篠竹で作られたかごは消耗品で、作るそばから売れました。農閑期の副業となり、明治末期から大正、昭和にかけての約 60 年間、上郷の特産品となり地場産業として栄えたという事です。

かごも魚貝類、野菜、堆肥やおがくず、ボルトやナットの金属類など、用途別に変化し、プラスチックが出回る昭和 40 年頃まで作られました。

「パイスケ」への想い

かごが好きで、本（「つるクラフト」文化出版局刊）まである私ですが、思いがけず、地元でパイスケと出会いました。

上郷の地＝横浜観察の森 雑木林ファンクラブでパイスケを復活させる。

横浜開港場＝横浜公園＝かつてプラントンが設計し彼我公園と呼ばれた場所でパイスケを見てもらう。

折りしも、2009 年は横浜開港 150 周年。

スプリングフェアの賑わいの中に、プラントンさんはじめ、へボンさん、シドモアさん、パーマーさん、モレルさんも集まってきましたよ。

(石黒 陽子)



## 1. 2月の活動報告

- ① 1月31日(土) 雨 8名 SF準備木工
- ② 2月7日(土) 晴 30名 SF準備木工、9号地間伐と仮置材のトラック持帰り
- ③ 2月14日(土) 晴 20名 炭焼き(通夜:本窯・ドラム缶窯)、SF準備木工
- ④ 2月15日(日) 晴 14名 炭焼き、森ボラ
- ⑤ 2月21日(土) 晴 29名 SF準備木工、ホダ木玉切(クヌギ林)、午後・運営会、  
ゴロ報告発送

他に、各水曜日に準活動日として木工作业を実施



9号緑地: 昨年11月に間伐し仮置きしていた材に加えて、当日伐採したスギ・ヒノキを炭小屋に持ち帰りました。昼飯時には、穏やかな日差しのもとゆったりと休憩、談笑しました。

シイタケが採れ始めています。今年はいつものより早いのでしょうか。  
このかごについては前ページの石黒さんの思いを参照して下さい。

## 2. 2月運営会の報告 (2月21日 1245 ~ )

- ① 3月の作業打ち合わせ … 別項の通り
- ② スプリングフェア  
4月25日(土)、26日(日) 於横浜公園。申込み済み。
- ③ ニッセイ緑の財団の助成金  
過去何年も受けている。今年も10万円の申請をだした。
- ④ クヌギ林の管理作業  
3月一杯を準備にあて、4月から実施に移る。
- ⑤ シイタケ菌の駒うち  
遅くとも3月一杯に実施する。早急に駒の手配をする。
- ⑥ 森林ボランティア向け伐倒技術安全講習会(よこはま里山研究所主催)  
3月14日(土)、15日(日) 於川井緑地(相鉄三ツ境駅バス10分)  
1日目: 安全作業レクチャー、ワークショップ、伐倒作業の実演  
2日目: 道具機器レクチャー、チェーンソー実習、伐倒作業実習  
申込: FAX(様式はZFCにある)又はメール: [office@nora-yokohama.org](mailto:office@nora-yokohama.org)  
定員: 20名。3月7日(土)必着。  
費用 4,800円。但し半額をZFCが補助。役に立つ講習であり、出来るだけ受講されたい。
- ⑦ 偶数月の第3日曜日を活動日とする  
友の会森ボラ説明会の開催日であり、友の会入会希望者にZFCの活動が見てもらえ入会する人が増えればとの期待から、提案があり討議のうえ、通常の活動日として実施することに決定。  
即ち、偶数月の第3土日は連続活動日となる。
- ⑧ 友の会総会  
4月5日(日) 10:00~12:00。ぜひとも参加されたい。

⑨ 新年度の役員

交代の時期がきた。是非手を挙げてほしい。

⑩ 駐車場の件

3月一杯、園内と周辺工事の資材、車両のため狭くなっている。なるべくバス利用を。  
または、ZFC会員同志は車の縦2列駐車を。

3. 3月の活動予定

- ① 2月28日(土) 木工・SF準備、炭の窯出し、園内散乱材の整理
  - ② 3月7日(土) 木工・SF準備、炭材作りと窯詰め、竹垣の修理
  - ③ 3月14日(土) 木工・SF準備、間伐材の皮剥ぎ、クヌギ林草刈り(ノカンゾウ周辺)
  - ④ 3月21日(土) 木工・SF準備、園内倒木整理、午後・運営会
  - ⑤ 3月28日(土) 木工・SF準備、製材、シイタケ菌のコマ打ち
- 他に、毎水曜日は準活動日として木工等

やもり

遂に新住居をゲットした守宮

弥生(三月)となると人も動物も小鳥も心うきうきと何となく何か楽しい事が待ち受けている季節になって参りました。そんな中、一寸我家で変わった事件が発生したので記事にしてみました。

昨年春、森で作った小鳥の巣箱(四十雀用)を庭の樹木に掛けたところ、四十雀も一、二度覗きに来ていたのですが嫌われてしまい、結局、空巣箱となって年を越してしまいました。先日「今年は入ってくれますように」との願いを込めて巣箱の点検をしようと、屋根蓋を開けてみたところ「守宮」がしっかりと「我住氏」だと言わんばかりに奥の院に陣取っていたのにはびっくりしました。元々我家は築四十年位たった家であり、私が転居してからも早や十三年にもなる家で、越した頃より時々雨戸の裏側で守宮は見かけてはいました。たぶんその守宮ではないかと思われます。

守宮も小鳥は入らないし、新しい住居で人の目や他の動物にも狙われる事もないので一番の住環境と判断したのでしょう。そのまま「そっと」しておいてやりました。

新俳句一句

す  
鳥巣箱 澄まして守宮 主となる

修平 記

4. その他

- ① ゴロ報124号を同封します。
- ② 友の会 21年度分年会費の振込票を同封します。  
納付期限は2月末。一寸無理ですが、出来るだけ早くお支払い下さい。  
会費振込に基づいてボランティア事故共済への加入手続きがなされます。
- ③ 20年度第3回炭焼き記録(本窯・ドラム缶窯)を同封します。

以上

明日からは若菜摘まむと占めし野に  
昨日も今日も雪は降りつつ

山部赤人

もう何年になるか、奈良県南部の東海自然歩道の山歩きの途中、畑中の森で赤人の墓とかいう大きな古い碑石に出会いました。  
ほんとかどうか、でもなぜか親しみを持っています。